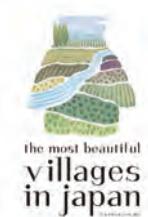


広報  
No.742  
令和7年

# いいいたて12

[www.vill.iitate.fukushima.jp](http://www.vill.iitate.fukushima.jp)



パークゴルフ de 担い手大交流会





冬から春にかけて  
庭を彩るクリスマス  
ローズ。色の種類が  
多く趣もさまざま。

## 目次 CONTENTS

- 02 話題「綿津見神社の紅葉ライトアップ」
- 04 特集「心を込めて ふるさと納税返礼品」
- 08 報告のページ「飯館村表彰式」ほか
- 10 学びの広場「持久走交流会」ほか
- 12 ほけんとふくし「老人クラブ会員交流会」
- 14 空から百景「イルミの広場」
- 16 いいたて便り
- 18 話題のパレット
- 21 村からおしらせ「百歳賀寿」ほか
- 24 なりわいREPORT
- 25 歴史の散歩道／ふれ愛館だより
- 26 いいたてPHOTOリレー ほか
- 27 愛楽故郷味／ひとのうごき
- 28 ほっとNEWS ほか



古くからの村民、最近村民となった皆さん、さらには村を応援くださる方など約80人が参加した『パークゴルフde扱い手大交流会』。プロの写真家が撮影する「いいたてつなぐ写真館」も併せて実施されました(表紙はその1枚)。詳しくはP16で。

## 綿津見神社の紅葉ライトアップ

### 住民有志が灯す光のイベント

11月13日から16日に、綿津見神社で紅葉のライトアップが行われました。住民有志のグループ「ふらつ」との企画で2年連続の開催。光のデザインや照明の設置もメンバーが協力して行う、手づくりのイベントです。地域の人々が親しみを持って拠り所としている神社が、光に彩られ、荘厳な趣で輝きました。



ほのかな明かりの中で  
スープやコーヒー、おし  
るこや特製の焼きそば  
などが販売されました。



### 「レトロな絵はがき展」



社務所にて、明治から戦前に制作されたノスタルジックなデザインの美術絵はがき約100点の展示が行われました。

「光のモニュメント」  
11月16日には、東日本大震災の犠牲者の鎮魂と復興を願う「光のモニュメント」が実行委員会により綿津見神社にて行われ、夜空

に向かってサーチライトの光が放たれました。光のモニュメントは来年3月にかけて相双地区12か所で実施されます。



# 心をこめてお届けします ふるさと納税返礼品

全国から寄せられる  
飯館村への応援に  
「ありがとうございます」を伝えよう

## ふるさと納税とは

“生まれ育ったふるさとに貢献できる”“自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる”納税制度として、平成20年に創設されました。大都市と地方の格差の是正や、人口減少地域における税収減対策、地方創生などを主な目的としています。

飯館村は、全国の皆さんからの応援がこもった「ふるさと納税」を、産業振興・教育環境の整備・村民の健康増進・景観向上などに活用させていただいている。

## ふるさと納税の成り立ちと返礼品について

ふるさと納税は、自治体への「寄附」にあたり、確定申告により税の控除が受けられます。また、希望によりふるさと納税の額に応じた返礼品を受け取ることができます。

飯館村は、震災以降、たくさんのがふるさと納税による応援をいただき、復興に力を入れてきました。また、地場産品が生産できない時期には特例で全国の自治体の产品を代替品としましたが、現在では飯館村ならではの返礼品で、感謝をお伝えできるようになりました。

現在も、農家や事業者のご協力のおかげで、一步一步、返礼品のラインアップを充実させています。

また、引き続き返礼品を募集しておりますので、参加を検討される方は、ぜひお問い合わせください。

この特集では、飯館村のふるさと納税の概況についてお知らせすると共に、全国の皆さんにぜひ受け取っていただきたい、自慢のまでいな返礼品を、村民の皆さんにも紹介します。

問 村づくり推進課企画定住係 0244-42-1622

ふるさと納税をはじめとする  
飯館村への寄附について

前年度（令和6年度）に飯館村にお寄せ  
いただいた寄附は、全体で714件・2,035万  
2,146円でした。そのうち返礼品をお贈り  
する形のふるさと納税については307件・  
803万9,918円でした。

お寄せいただいたご厚意に深く感謝し、  
寄附はそれぞれの目的に沿って、大切に活  
用させていただいております。令和6年度  
は、村民主体のにぎわいづくりや起業支援  
などに活用させていただきました。

- 寄附開始から毎年寄附させてもらっています。ずっと応援しております。（埼玉県）
- 美しい自然の再建と故郷に戻りたい住民を応援しています。（東京都）
- 里山のつぶ、毎年大変おいしくいただいています。復興応援します！（東京都）
- がんばれ飯館。（神奈川県）
- 応援し続けます。（愛知県）
- 復興に向けて、いままでもこれからも応援しています。（神奈川県）
- 復興が進んできてうれしく思います。これからも応援いたします。（奈良県）

飯館村のふるさと納税の掲載サイト

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税

さとふる

ふるなび



各サイトへのリンクが飯館村のホームページ上にまとめてあります。左のQRコードからご活用ください。



次ページの  
例は  
ラバ  
ンス  
の  
ペー  
ジで  
一  
は

ご家族やご親族の皆さんお友達にもぜひ紹介を。  
お届けする

## 心をこめて いいたて村の よさを伝える返礼品の数々

一例を紹介  
します！

### までいの牛



千葉県山武市に牛と共に避難し飯館牛の血統の牛を育てています。写真のステーキ用の他、すき焼き用も。



小林将男さん  
(関沢)

までいに育てた  
濃厚な赤身に肉  
本来の旨みが凝  
縮しています。

までいに育てた濃厚な赤身に肉本来の旨みが凝縮しています。確認ください。

全国の皆さんへの応援に感謝を伝えよう。村は、村の皆さんや村内事業者の協力をいただきながら、飯館村ならではの返礼品を用意しています。このページでは、その一例を紹介します。詳細は、各ふるさと納税サイトでご確認ください。

感謝を伝えよう！

飯館の草花を丁寧に加工しキャンドルに仕立てています。



大槻美友さん  
(草野)

### 工房マートル



ギフトボックスで届く飯館の花を使ったボタニカルキャンドルや季節が香るフレグランスキャンドルを。

0244-42-1622

### 古今呂の宿 福とみ



完熟のいいたて雪っ娘かぼちゃを使った人気商品がずらり。郷土食が味わえる農家民宿のペア宿泊券も。



### までい工房美彩恋人



渡邊とみ子さん  
(前田・八和木)

いいたて雪っ娘  
かぼちゃをさまざまに味わって  
みてください。

### 肉のゆーとぴあ



飯館産牛肉を  
使った商品が、  
近々ラインアップに登場予定。

COMING SOON !

山田 豊さん 山田あゆみさん  
(関根・松塚)

ホットでもアイスでも。リラックス感が体を包んでくれます。

### SHIRUBE



飯館産ホーリーバジルのお茶。ストレスに対する抵抗力を高める力も。うれしいノンカフェイン。



渡部沙織さん

株式会社サガデザインシーズ 飯館オフィス

7



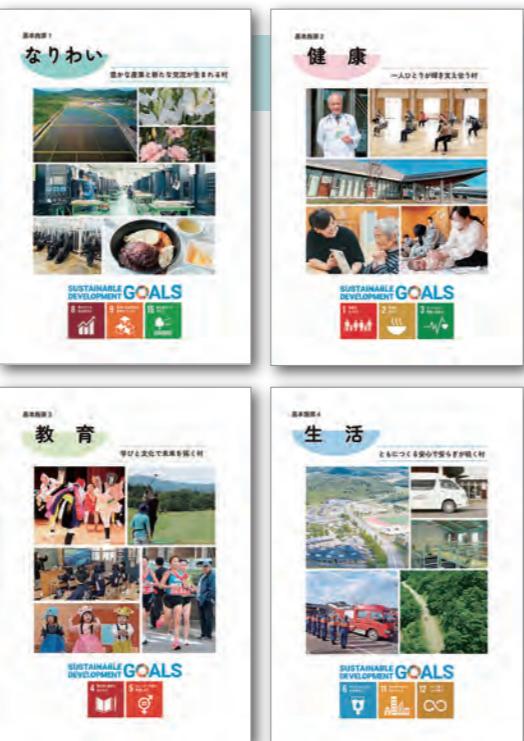
『令和7年度飯館村戦没者追悼式』には、「飯館村遺族会」「飯館村英靈にこたえる会」の会員の皆さんと、村の幹部職員や関係者などが出席し、戦没者を追悼すると共に、平和を祈念しました。式では、出席者が黙とうと献花を行いました。また、杉岡村長が「戦禍の只中にあつた多くの方々の苦しみに思いを致し、また恒久的な平和と安寧を築いていくことが私達の使命であります」と式辞を述べました。追悼式に続き同じ会場で、「飯館村遺族会」「飯館村英靈にこたえる会」主催の「飯館村戦没者慰靈祭」も行われました。

## 第7次総合振興計画(案)の策定進む

令和8年度から10年間の村づくりの指針となる飯館村第7次総合振興計画(案)について、8月から9月にかけて実施したパブリックコメントに数多くのご意見をお寄せいただきありがとうございました。ご意見を受け、飯館村第7次総合振興計画策定委員会が協議を行い、最終案が取りまとめられました。パブリックコメントへの回答は、今後、村のホームページ上で公表します。

村長の諮詢を受け計画(案)の審議を行った飯館村振興計画審議会は、「本計画に村民一人ひとりが主体的に参画できる」環境づくりや理解醸成などについて意見をまとめ答申を行いました。

計画(案)は12月議会に上程される予定で、議会審議を経て、成案を目指します。



計画案は4つの分野で基本施策をまとめています。

## 飯館村表彰式 長年の尽力に感謝を込めて



功績を讃え感謝を込めて



功労表彰  
佐藤 義文 さん

(八木沢・芦原)  
飯館村消防団員37年

特別功労表彰  
赤石澤 傳 さん

(飯樋町)  
飯館村消防団員43年  
消防団長5年

11月7日、交流センター「ふれ愛館」にて、来賓の皆様のご臨席の下、「令和7年度飯館村表彰式」を挙行しました。式では杉岡村長が、特別功劳表彰の佐藤義文さんに表彰状

と記章を授与し、長年にわたる尽力に感謝を伝えました。また、赤石澤さんが代表で、「この表彰は、私一人の力ではなく、消防団員、仲間たちの連携、村関係者によるご支援、地域の皆様の温かい応援とご

協力があつてこそです」と謝辞を述べました。式の後には、宿泊体験館きりに会場を移して祝賀会が開かれ、お二人を囲んで、出席者が祝意と感謝を伝えました。



## いいたて希望の里学園 川俣町内小学校と持久走交流会

11月5日、川俣町内小学校といいたて希望の里学園の児童による持久走交流会が、澄んだ秋晴れの下、いいたてスポーツ公園で開催されました。

児童は低学年・中学年・高学年に分かれ、それぞれの距離を一生懸命走りました。また、学校や学年の枠を超えて応援し合い、感想発表では「交流ができた楽しかった」「最後まで走り切れてよかった」と、互いの健闘をたたえ合いました。



低学年が800m、中学年が1,000m、高学年が1,200mを力いっぱい走りました。写真は力走する低学年。

## いいたて希望の里学園 地震発生を想定した避難訓練

11月11日、大地震の発生を想定した避難訓練が行われました。児童生徒は机の下に入って身を守り、その後、校内放送の指示で校庭に避難しました。



防災頭巾を被り、クラスごとに校庭へ。これまでの訓練や学びを生かし、落ち着いて素早く行動できました。

## いいたて希望の里学園 福島ユナイテッドFCの環境教室

11月11日、いいたて希望の里学園の5~6年生を対象に、東急不動産と福島ユナイテッドFCによるJリーグ環境教育授業が行われました。Jリーグ気候アクションアンバサダーの田中雄大選手が講師として来校し、「気候アクション」を一緒に考えよう!をテーマに、福島ユナイテッドFCの環境保全の取り組みや、再生可能エネルギーの情報を紹介しました。後半には児童が、今後やってみたい環境に対する取り組みや行動について話し合い、発表しました。



Jリーグの選手と身近に触れ合った子ども達。活発に話し合い、環境保全について学びを深めました。



### 文化展鑑賞

いいたて村文化祭の総合文化展を、こども園の園児と学園の児童がそれぞれ鑑賞しました。左の写真は10月28日の児童の鑑賞会。

## までいの里のこども園 笑顔いっぱい!ハロウィンパレード

10月31日、までいの里のこども園の園児がハロウィンの仮装をして村役場を訪れました。

「お菓子をくれなきゃいたずらしちゃうぞ!」と声を合わせながらパレードする園児達のかわいらしい姿に、お菓子を渡す職員も満面の笑顔でした。また、ハロウィン仕様のイタチちゃんが登場すると、園児達は大興奮。お菓子のお礼に、息の合ったハロウインダンスを庁舎前で披露し、職員や来庁した人達に、笑顔と元気を届けてくれました。



役場職員一同、毎年このパレードを楽しみにしています。庁舎の中が笑顔でいっぱいになりました。

## までいの里のこども園 綿津見神社で七五三参り

11月14日、までいの里のこども園の3歳以上の園児21人が、綿津見神社で『七五三参り』を行いました。

子ども達は、自分でつくった千歳飴の袋を手に神社を訪れました。神社では、宮司の多田宏さん・保子さんご夫妻(宮内)にお迎えいただきました。子ども達は、多田さんから七五三の行事の意味や参拝の仕方を教わり、小さな手を合わせて丁寧にお参りしました。



拝殿の鈴を鳴らしてお参りする園児。健やかな成長に感謝し、今後の健康に願いを込めました。

## いいたて希望の里学園 児童が落語口演会を鑑賞

10月28日、交流センターふれ愛館を会場に、「落語口演会」が行われ、いいたて希望の里学園の前期課程の児童が鑑賞しました。

口演者は三重県出身の切磋亭琢磨さん(本名・石崎豊さん)。東日本大震災の被災地を訪れ、落語を通して元気と笑顔を届ける活動を行っています。「寿限無」「狸賽(たぬさい)」「手水廻しちょうずまわし」などの演目が披露され、子ども達は愉快な話に声を上げて笑い、落語を楽しんでいました。



切磋亭琢磨さん。  
高座で落語を語る



思わず笑い出す子ども達。落語を満喫!

### HELLO!

いいたて希望の里学園・までいの里のこども園の「ALT(Assistant Language Teacher/外国語指導助手)」に着任したリアン・スターリング先生はカリブ海地域の国・ジャマイカの出身です。「自然が美しい飯館村で子ども達と楽しく活動し、英語が身に付くように頑張りたいです」と目を輝かせて話していました。



## 体力測定会を実施しました

福島県立医科大学保健科学部の協力で、体力測定【握力、歩行・バランステスト、TMT検査(脳の元気度の確認)】を行いました。

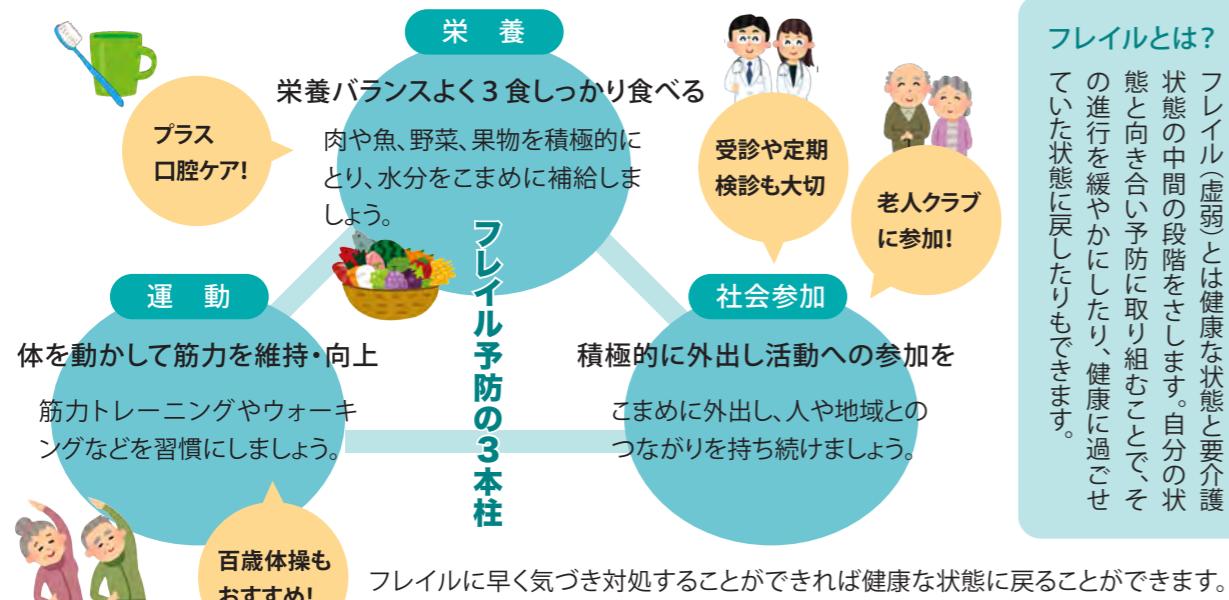
参加者からは「自分の体力を知ることができてよかった」などの言葉が聞かれ、自身の体の状態を確認するよい機会となりました。

また、「学生さんと一緒にまわって楽しかった」「元気が出た」「みんなと交流ができるよかったです」と楽しみながら体力測定ができたようです。

体力測定は「フレイル予防」に効果があると言われています。



学生の皆さん笑顔で検査をサポート。



## 講話「口腔ケアについて」 福島県歯科衛生士会 玉川春美先生

歯科衛生士の玉川先生より、オーラルフレイル(噛む力・飲み込む力・話す力の低下)の予防についてお話をいただきました。お口の衰えは全身の衰えにつながり、口の機能が低下すると「食べる」「しゃべる」など、日々の楽しみを続けられなくなります。年を重ねてもこの楽しみを失わないためには、毎日のお口のお手入れが大切になります。

講話では歯みがきなどのお手入れのコツや、お口の機能を鍛える体操の一つとして「ブクブクうがい+ガラガラうがい」を教えていただきました。お口の健康を保つには、普段から自分のお口の状態を確認し、気になるところがあれば早めに対処することが必要です。かかりつけ歯科医を持ち、定期的に検診を受けましょう。

\* 頬全体をふくらませる「ブクブクうがい」と、のどの奥で行う「ガラガラうがい」は、いつもより強めに、回数多く行うことでお口のトレーニングになります。また感染予防にも効果的ですので、ぜひ日々の生活に取り入れてください。



図や模型を使って分かりやすく、音楽に合わせた体操も取り入れて、楽しい講話をなっていました。

会員募集中!  
老人クラブ連合会

## 飯館村老人クラブ連合会会員交流会

問 飯館村社会福祉協議会 ☎0244-42-1021 (担当・荒木)



11月5日、交流センターふれ愛館にて「飯館村老人クラブ連合会会員交流会」が開催されました。

会では、福島県立医科大学保健科学部の協力の下、体力測定会を実施。続いて「口腔ケアとオーラルフレイル」に関する講話を一同で聴講しました。午後には輪投げやだるま落としなどのレクリエーションを楽しみ、学生を交えて会員が笑顔で交流しました。



## 赤十字奉仕団の炊き出し訓練

交流会同日、飯館村赤十字奉仕団が炊き出し訓練を兼ねて、参加者に豚汁を振る舞いました。本団体は、奉仕の精神のもと、村内でさまざまなボランティア活動を行っています。団員募集も行っておりますので、ぜひお問い合わせください。

問 飯館村社会福祉協議会 ☎0244-42-1021 (担当・安齋)





ふかや風の子広場に今年もイルミネーションが灯りました。飯館村商工会青年部による光のイベント。メンバーが企画・デザインから設置までを行う特別なイルミネーションです。点灯式は11月22日の「いいたて冬まつり」の中で行われました(詳しくは裏表紙をご覧ください)。光に包まれた遊具で遊ぶのは特別な感覚。帰宅途中に立ち寄る親子連れや、会社帰りに散策をして動画を撮る人の姿もありました。イルミネーションは、荒天時を除いて毎日、日没から午後9時まで点灯します。期間は来年3月1日まで。ぜひ一度訪れて、絵本の世界のような、幻想的な景色を体感してみてください。



交流センター「ふれ愛館」で出発式を行い、消防自動車がパレードを開始。村内の各地区へ向かいました。

## 秋の火災予防運動に合わせて 防火パレードを実施しました

11月9日、秋の防火パレードが執り行われました。このパレードは、秋の火災予防運動として全国的に実施されている活動の一環で、地域の防火意識を高めることを目的としたものです。

当時は飯館村消防団員62人、女性消防隊2人が参加。村内の各地区を回りながら、焼却行為等による火災の防止など、家庭や企業に対して防火意識の向上を呼びかけました。

これからはますます空気が乾燥する時期になります。火の不始末には十分注意しましょう。

## パークゴルフde担い手大交流会 いいたてつなぐ写真館も同時開催

古くからの村民、最近村民となった皆さん、さらには村を応援くださる方など約80人が参加して、11月1日、いいたてパークゴルフ場で『パークゴルフde担い手大交流会』が開催されました。プレー後には、「いいたて愚真会」の協力で、温かな手打ちそばを囲んでの交流会が催され、参加者が懇親を深めました。



プロの写真家が参加者をグループごとに撮影する「いいたてつなぐ写真館」も同時開催。素敵な笑顔が集まりました。



日本を代表する絵本作家、故・いわさきちひろ氏とのエピソードを紹介しながらメッセージを伝える松本さん。

## 男女共同参画講演会 「自分らしい生き方について」

11月9日、交流センター「ふれ愛館」で、男女共同参画講演会「『いわさきちひろ』とわたし自分らしい生き方について」を開催しました。いわさきちひろ氏の実孫で絵本作家の松本春野さんの講演です。

松本さんは、固定概念化している男女の役割を、絵本を通して改善したいという思いや、「自分が幸せになる人生」を歩むための方法を、自身やいわさきちひろ氏の経験を交えて語りました。

講演後にはサイン会も開かれ、参加者が松本さんと言葉を交わし笑顔で交流しました。

## ふかや風の子広場 5周年の記念イベントを開催!

11月3日、ふかや風の子広場の開園5周年を記念して、『風の子広場宝探しゲーム』と題したイベントが開催されました。

参加した子ども達は目を輝かせ、広場内に隠された宝物を一生懸命探しました。発見者には賞品としてお菓子の詰め合わせが贈られた他、カプセルトイマシン(ガチャガチャ)でも景品をプレゼント。参加したご家族からは「楽しかった」「また開催してほしい」と声が寄せられ、宝探しを大満足で楽しんだ様子がうかがえました。



ご参加ありがとうございます。  
また遊びに来てくださいね。



数多くのエピソードを交え、長泥コミュニティセンターの研修室で講話をを行う菅野さん(左端)。

## 長泥コミュニティセンターで 震災後の歩みを振り返る研修会

11月21日、長泥地区で、環境省主催の『環境再生事業研修会と菅野典雄元村長講話』が行われました。研修会には、環境省職員と共に、村役場若手職員が参加し、震災後の長泥地区の歩みについて学びました。前半には環境再生事業の概要説明と現地見学が、後半には長泥コミュニティセンターにて、元村長の菅野典雄さん(佐須)の講話が行われました。菅野さんは、環境再生事業の実施に至る経緯を語り、参加者に「どのような状況でも相手を思いやり、『心をシェア』することが大切」と伝えていました。

## 軟式野球・ソフトボール 飯館村チーム解団式

11月8日、エフズサンパレス(福島市)で、「第19回市町村対抗福島県軟式野球大会」及び「第12回市町村対抗福島県ソフトボール大会」に出場した飯館村チームの解団式が行われました。式では野球の佐藤将樹監督(関根・松塚)が「後世につなげることを意識して続けていく」と、ソフトボールの高橋和徳監督(関根・松塚)が「皆でつなぐことを目標に試合に臨むことができた」と各チームについて語り、関係者に感謝を伝えました。また、杉岡村長、佐藤村議会議長らが両チームの健闘をたたえました。



村旗を返還する野球  
チームの遠藤翼主将  
(右／前田・八和木)。



同じくソフトボール  
チームの一刀駿選手  
(右／上飯塚)。

## 「持続可能な農業を考える勉強会」

11月12日からの2日間、県内外の大学や高等専門学校の学生13人が来村し、飯館村の農業について学ぶ勉強会に参加しました。

この勉強会は株式会社リテラジャパン(草野)の企画によるもの。学生の皆さん、畜産農家で精肉店を営む山田豊さん(関根・松塚)の牛舎や飯館村振興公社の圃場を訪れ、「頑張っている農家の姿を知ることができた」「全国の人に知ってほしいし共に考える機会があるとよい」と感想を述べていました。



## 2団体が共同で美化活動

11月5日、飯館村婦人会(長谷川花子会長／前田)と飯館ライオンズクラブ(渡邊春治会長／小宮)の2団体が共同で奉仕活動を行いました。

両団体から合わせて24人が参加し、村役場から臼石交差点、交流センター「ふれ愛館」までの道路7.5kmの周辺と、いいたてスポーツ公園のごみ拾いを丁寧に行っていただきました。継続的な活動に感謝し、私達も日常的な地域の美化を心がけていきましょう。



## 2025ダブルダッチ＆音楽フェス開催!

11月2日、交流センター「ふれ愛館」にて、ゲストハウスCOCODA主催のイベント「2025ダブルダッチ＆音楽フェス」が開催されました。東京大学のダブルダッチサークル「D-act」の演舞をはじめ、村にゆかりのあるアーティストや団体による多様なステージが続きました。次々と繰り広げられるacroバティックな演舞や演奏に歓声が上がり、会場は大きな盛り上がりを見せっていました。



## IITATE ReCRAFT 完成お披露目会

11月1日、宿泊体験館きこりで、飯館産のホップを使用したビール「IITATE ReCRAFT」の完成お披露目会が開催されました。東京大学の院生・学生の有志による「飯館村ホッププロジェクト」の企

画でビールの製造は2年目。今年はペールエールを加え2種類のクラフトビールが完成しました。プロジェクトの共同代表を務める小高慎太朗さん(写真右)と石橋宙郎さん(写真左)は、「地域の人と一緒に作ることができてよかったです。この地に根を張り活動を続けたい」と話していました。



参加者が香り高いビールを楽しみました。



## ふくしま満天堂プレミアム商品に!

県産品を活用した6次化商品から特に優れた新商品を表彰する「ふくしま満天堂グランプリ」。現役バイヤーによる1次審査で上位10点のプレミアム商品が決定し、精肉店「肉のゆーとぴあ」(株式会社ゆーとぴあ／関根・松塚)の『飯館村の牛飼いが煮込んだ牛角煮』がその1つに選ばされました。10商品は最終審査に進み、12月1日から31日まで、福島県観光物産館(福島市・コラッセふくしま内)で行われる消費者投票を経て、グランプリが決定します。

『飯館村の牛飼いが煮込んだ牛角煮』は、ほろほろと柔らかな牛肉に、旨みがぎゅっと詰まった逸品。最終審査に向け、おいしく食べて皆で応援しましょう!



## ハシドラッグでロックフェス

11月2日・3日の2日間にわたりハシドラッグ飯館店の駐車場で「いいたてロックフェス」が開催されました。同実行委員会の主催で、JAZZ喫茶くまの共催です。ステージには、ハシドラッグのテーマソングを歌っているシンガーソングライターのShimvaさんや、南相馬市で活躍するシンガーソングライターのAmelieさんの他、福島市で活動するバンドなどが登場。多様な音楽が演奏され、出演者や観客が交流も楽しんでいました。



# 百歳 賀寿

## 横山キヨさんがめでたく百歳を迎えられました

横山さんの賀寿のお祝いは、入居されている施設で行われ、多くの入居者の方も参加して、横山さんをお祝いしました。村からは賀寿の褒状と祝金をお贈りしました。また、県、飯館村社会福祉協議会、飯館村老人クラブ連合会、JAふくしま未来からもお祝いが届けられました。

### 横山キヨさん（草野）

大正14年11月13日生まれの横山さん。手先が器用で、現在も手芸を趣味にしています。また、週に2回のデイサービスを楽しみにしていて、村内で開催される会合にも出席しています。お祝いの式ではイスからスムーズに立ち上がり、参加者を驚かせしていました。

横山さんは飯館村で53人目の100歳です。また、賀寿のお祝いは今年度3人目。11月1日現在、村には100歳以上の方が9人いらっしゃいます。どうぞこれからもお健やかに、ご長寿を重ねてください。

手作りの装飾が素敵な会場で賀寿をお祝いしました。

### 年末に向け道の駅で販売会!

問 までい館 0244-42-1080

### ■飯館産黒毛和牛精肉販売会

佐藤隆男さん（飯穂町）が丹精込めて育てた黒毛和牛の精肉を販売。すき焼き用・焼肉用など、数量限定の特別価格です。

12月13日（土）午前9時30分～  
無くなり次第終了（取置・予約不可）

### ■愚真会年越しそば予約受付中!

村内のそば粉を使用し、いいたて愚真会が手打ちした、香り豊かな年越しそばの予約を受け付けています。完全注文制・限定100セットで、お渡し日は12月30日（火）になります。

予約締切：12月23日（火）

### “芸能発表祭”出演者募集中！

「いいたて村芸能発表祭」を2月に開催します。民俗芸能団体や文化サークルの皆さんにはもとより、個人やグループでのご参加も大歓迎です。※希望者多数の場合は調整が入る場合もあります。

#### いいたて村芸能発表祭

主催：いいたて村芸能発表祭実行委員会  
令和8年2月15日（日）開催※時間未定  
交流センター「ふれ愛館」  
募集期間：11月4日（火）～12月26日（金）

問 生涯学習課 0244-42-0072

## いいたて雪つ娘祭り

11月23日、今年で5回目となる『いいたて雪つ娘祭り』が、いいたて村の道の駅までい館で開催されました。いいたて雪つ娘かぼちゃプロジェクト協議会（渡邊とみ子会長／前田・八和木）の主催。全国から生産者や雪つ娘かぼちゃのファンが集まり、育種者の菅野元一さん（宮内）が審査を行う品評会や、レシピコンテストなどが行われました。参加者はもとよりイベントに来場した皆さんも加わって、情報交換をしたり交流をしたり。雪つ娘かぼちゃを通じた確かなつながりが生まれています。

全国の生産者が自慢の雪つ娘かぼちゃを持ち寄り開催された品評会。

おやきやエビチリ、スープなどで味わいの魅力を表現した「いいたて雪つ娘ワンプレート」も販売。

## 飯穂4区合同パークゴルフ大会

11月9日、飯穂4区合同でパークゴルフ大会が開催されました。当日は地域住民と各行政区のコミュニティ担当職員合わせて37人が集まり、ランダムにチームが分けられました。お互いのプレーを応援しながら、和気あいあいとした雰囲気で大会が進み、プレー終了後には飯穂町集会所に会場を移して表彰式と懇親会を実施。「飯穂4区はつながりがある地域。これからもこのつながりを大事にしていこう」と地域の絆を確かめ合いました。

## 飯穂町防災訓練

11月16日、飯穂町行政区による防災訓練が実施されました。当日は朝9時に地区の消防団がサイレンを鳴らしながら訓練を知らせ、飯穂町地域防災センターに集合。訓練には消防団を合わせて29人が参加しました。訓練内容は洪水を想定したので、土嚢の積み方や洪水時の避難の方法などを学ぶ内容でした。訓練後は非常食の試食を行い、訓練の内容を振り返りながら、住民同士で交流しました。

21

広報いいたて 令和7年12月号

20

## ふるさと住民の皆さんをお招きして

11月22日、ふるさと住民の皆さんに応援への感謝を直接お伝えしようと『おかえり・ただいま・はじめまして感謝祭』を開催。宿泊体験館きこりに、県内外から13人の方をお迎えしました。

司会はフリーアナウンサーの菅原美智子さん。現在の様子を伝えるトークセッションでは、「健やかに暮らせるいいたての会」会長の小林美恵子さん(前田・八和木)、工房マートルの大槻美友さん(草野)、飯館村地域おこし協力隊の秋山聖奈さん(上飯樋)に、村への想いやこれから実現したいことなどを語っていただきました。また、飯館産の食材を使ったランチを囲んで交流し、村民有志の音楽の演奏なども行われました。

参加した皆さんも「若い方が移住し盛り上げてくださっていることに感激しました」「改めて飯館村の魅力に気づくことができました」「いつか移住を叶えたい」など、それぞれの想いを語り合いました。新たな出会いが生まれ、応援してくださる方との結び付きが深まる、温かな感謝祭となりました。



## 11月の村の動きと主なできごと

29日	27日	26日	22日	21日	12日	11日	10日	9日	8日	7日	3日	2日	1日								
・までいの里のこども園生活発表会(までいの里のこども園)	・文化財保護審議会(交流センター「ふれ愛館」)	・ふるさと住民向けイベント「おかえり・ただいま・はじめまして感謝祭」(宿泊体験館きこり)	・ふるさと住民向けイベント「おかえり・ただいま・はじめまして感謝祭」(宿泊体験館きこり)	・ふるさと住民向けイベント「おかえり・ただいま・はじめまして感謝祭」(宿泊体験館きこり)	・ふるさと住・交流&地域おこしフェア(東京都江東区・東京ビッグサイト)	・ふるさと住民向けイベント「おかえり・ただいま・はじめまして感謝祭」(宿泊体験館きこり)	・ふるさと住民向けイベント「おかえり・ただいま・はじめまして感謝祭」(宿泊体験館きこり)	・秋の防火パレード(交流センター「ふれ愛館」/村内各所)	・秋の防火パレード(交流センター「ふれ愛館」/村内各所)	・飯館村男女共同参画事業「自分らしい生き方にについて」講演会(交流センター「ふれ愛館」)	・飯館村男女共同参画事業「自分らしい生き方にについて」講演会(交流センター「ふれ愛館」)	・横山キクヨさん(草野) 百歳賀寿	・横山キクヨさん(草野) 百歳賀寿	・読書推進についての意見交換会(交流センター「ふれ愛館」)	・読書推進についての意見交換会(交流センター「ふれ愛館」)	・定例教育委員会(村役場)	・定例教育委員会(村役場)	・飯館村総合振興計画審議会(村役場)	・飯館村総合振興計画審議会(村役場)	・飯館村老人クラブ連合会会員交流会(交流センター「ふれ愛館」)	・深谷地区農地中間管理事業調印式(深谷集会所)
29日	27日	26日	22日	21日	12日	11日	10日	9日	8日	7日	3日	2日	1日								
・ふるさと住民向けイベント「おかえり・ただいま・はじめまして感謝祭」(宿泊体験館きこり)	・秋の防火パレード(交流センター「ふれ愛館」/村内各所)	・秋の防火パレード(交流センター「ふれ愛館」/村内各所)	・秋の防火パレード(交流センター「ふれ愛館」/村内各所)	・秋の防火パレード(交流センター「ふれ愛館」/村内各所)	・秋の防火パレード(交流センター「ふれ愛館」/村内各所)	・秋の防火パレード(交流センター「ふれ愛館」/村内各所)	・秋の防火パレード(交流センター「ふれ愛館」/村内各所)	・秋の防火パレード(交流センター「ふれ愛館」/村内各所)	・秋の防火パレード(交流センター「ふれ愛館」/村内各所)	・秋の防火パレード(交流センター「ふれ愛館」/村内各所)											

## 「飯館村魅力向上発信事業」の一環で大学祭や県外イベントに出店 飯館村の物産を各地に広めに行こう!

### 各地の大学と協働し学園祭に出店



①10月25・26日、千葉大学松戸キャンパス「戸定祭」。②11月1日、明治大学生田キャンパス「生明祭」。③11月1日、大阪大学豊中キャンパス「まちかね祭」。



多くの人が村に関心を寄せ、商品を取り、学生の皆さんも含め、交流の輪が広がりました。



各大学の学生の皆さんには、ディスプレイや販売に積極的に関わっていた者や役場職員も現地に駆け付け、商品のよさ、飯館村の魅力を、直接来場者に伝えました。



④11月8・9日、「目黒区商工まつり(目黒リバーサイドフェスティバル)」。⑤11月23日、「七ヶ浜町の「第4回しちがはま肉フェスティバル」」に出店し、飯館産黒毛和牛を中心に、村の農産品をPRしました。



また、11月23日には、宮城県七ヶ浜町の「第4回しちがはま肉フェスティバル」に出店し、飯館産黒毛和牛を中心に、村の農産品をPRしました。

### 県外市町村のイベントにも出店

震災前から交流が続く東京都目黒区の「第62回目黒区商工まつり(目黒リバーサイドフェスティバル)」には、11月8日・9日の2日間出店しました。新米、村の特産品、酒類などを販売し、中でも「あぶくまもちのおしごこ」は年代を問わず大好評でした。栽培農家と共に花卉も販売し、店頭で生産者と来場者が交流しました。

今年はクマの冬眠の時期が遅くなるのではないかという予測も聞かれます。引き続き、日頃の対策もお願いします。

①朝夕の登山や散歩、農作業を行う際は複数人で行動すること。

②クマ鈴やラジオなど音のするものに身に付けること。

③野外に生ゴミ・野菜・果物・ペットフードなど、クマの食べ物になるものを置かないこと。

## クマ鈴の付け方を効果的に!



全国的にクマの被害が多発する中、飯館村でもクマの確認が相次ぎだことから、村は10月に、クマ鈴を緊急配付しました。配付数は各世帯2個とし、教育機関や関係施設にも配付しました。

クマ鈴は、クマに人の存在を知らせ、突然の遭遇を防ぎます。リュックの上部やベルトのループなど、動くたびに音が鳴る場所に取り付けましょう。鈴を複数付けることで、より効果を高めるとも言われています。



村をキャンバスに夢を描こう  
ワクワクを発信します



飯館村にも文字通り、霜が降りた霜月。来たる冬に備え、皆様もスタッフドレスタイアへと交換されることと存じます。

19日に「全国若手町村長会」の総会が東京にて開催されました。9月号のコラムでもご紹介いたしましたが、今回は就任後2週間ほどの町長さん等も含めて30~40代の町村長が50人近く参集し、男女ともにここ数年で若手町長さんが増える中、持続可能な地域づくりという共通の課題はもちろん、それぞれの地域課題への真剣な向き合い方を本音で語り合う貴重な場となりました。教員だったじ父の姿勢は「人生常に研鑽」でしたが、私自身もこういった研鑽を積む場を今後とも大切にしていきたいと思っています。また同日開催の「全国町村長大会」には全国の926町村長とともに出席し、翌20日には「全国山村振興連盟」通常総会、「市町村長の災害対応力強化のための研修」にて、将来への布石となる新たな関係構築や研修につとめてまいりました。

そして、P18に掲載のクラフトビール「I T A T E R e C R A F T」は、ペールエールも仲間入りをして、11月末から道の駅までい館とゲストハウスCOCODAにて数量限定で販売されています。

実は私自身も、こういったそれぞれの主体が企画する「ワクワク」する情報は、インスタグラムなどのSNSで知ることが多いです。ご年配の方も是非とも、お子さん、お孫さんとSNSの使い方を聞いていただければ、ご自身の世界が想像以上に大きく広がると思いますので、お試しください。

また、今月も沢山のイベントに参加させていただきましたが、このコラムには書ききれないで、私個人のインスタグラムやフェイスブックのアカウントにて写真を交えて発信しております。よろしければ、そちらもご覧ください。

私が村長に就任させていただいた5年前から繰り返し申し上げてきましたが、飯館村は可能性の宝庫であり、多様な夢を描ける真っ白なキャンバスです。そして、夢を描くためには「村民の今を支える」取り組みが必要不可欠です。とりわけ村では、現在の物価高騰への緊急対策として、12月議会で審議いただきましたので、ぜひ皆様もこの大きなキャンバスにそれぞれの夢を描いてみてください。

## ■ひとのうごき

### おくやみ

氏名	年齢	行政区
小林年雄さん	74	小宮
菅野タ力さん	92	長泥
五百川ミツ子さん	100	蕨平
佐藤方子さん	91	大倉
林良藏さん	69	臼石
飯畑正道さん	90	小宮
佐藤ハルヨさん	102	前田
松下正信さん	79	宮内

ご冥福をお祈り申し上げます



### ひとのうごき 令和7年11月1日現在

#### 人口 今月（前月比）

- 男 2,226人（-9）
- 女 2,146人（-10）
- 計 4,372人（-19）

世帯数 1,788戸（-6）

#### 10月1日~31日までの人口動態

- 転入 2人
- 転出 14人
- 出生 1人
- 死亡 8人

（住民基本台帳人口）

（10月16日から11月20日までに届け出のあったものを掲載）

※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。



飯館村にも文字通り、霜が降りた霜月。来たる冬に備え、皆様もスタッフドレスタイアへと交換されることと存じます。

19日に「全国若手町村長会」の総会が東京にて開催されました。9月号のコラムでもご紹介いたしましたが、今回は就任後2週間ほどの町長さん等も含めて30~40代の町村長が50人近く参集し、男女ともにここ数年で若手町長さんが増える中、持続可能な地域づくりという共通の課題はもちろん、それぞれの地域課題への真剣な向き合い方を本音で語り合う貴重な場となりました。教員だったじ父の姿勢は「人生常に研鑽」でしたが、私自身もこういった研鑽を積む場を今後とも大切にしていきたいと思っています。また同日開催の「全国町村長大会」には全国の926町村長とともに出席し、翌20日には「全国山村振興連盟」通常総会、「市町村長の災害対応力強化のための研修」にて、将来への布石となる新たな関係構築や研修につとめてまいりました。

そして、P18に掲載のクラフトビール「I T A T E R e C R A F T」は、ペールエールも仲間入りをして、11月末から道の駅までい館とゲストハウスCOCODAにて数量限定で販売されています。

実は私自身も、こういったそれぞれの主体が企画する「ワクワク」する情報は、インスタグラムなどのSNSで知ることが多いです。ご年配の方も是非とも、お子さん、お孫さんとSNSの使い方を聞いていただければ、ご自身の世界が想像以上に大きく広がると思いますので、お試しください。

また、今月も沢山のイベントに参加させていただきましたが、このコラムには書ききれないで、私個人のインスタグラムやフェイスブックのアカウントにて写真を交えて発信しております。よろしければ、そちらもご覧ください。

私が村長に就任させていただいた5年前から繰り返し申し上げてきましたが、飯館村は可能性の宝庫であり、多様な夢を描ける真っ白なキャンバスです。そして、夢を描くためには「村民の今を支える」取り組みが必要不可欠です。とりわけ村では、現在の物価高騰への緊急対策として、12月議会で審議いただきましたので、ぜひ皆様もこの大きなキャンバスにそれぞれの夢を描いてみてください。

住まいのこれからについて  
一緒に考えましょう！

空き家サポーター



菅野 茂さん  
(関根・松塚)



空き家空き地バンク・住まいの利活用に関するご相談は  
いいたての暮らしをつなぐステーション3ど

(いいたて移住サポートセンター)  
伊丹沢字伊丹沢578番地1  
☎0244-68-2850

毎月第3木曜日の午後  
は意見交換会も。ご興味  
ある方はぜひどうぞ。



## 空き家サポーターMessage 住み継ぐ村の宝

利用のない住まいの老朽化 進んでいませんか？

いいたて空き家サポーターの菅野茂です。空き家サポーターは、村の大切な資源でもある“住まい”的利活用を提案しています。家は住まない状態が続くと想像以上の早さで傷みます。換気不足による木材や壁紙のカビ、シロアリの発生、水道などの配管のサビ、動物の侵入被害やこれからの季節は凍結や結露による見えない場所のダメージなど、修繕・修復に多額の費用と時間がかかり、放置すると安全性や価値が下がる原因になります。思い出多い住まいを守り、優良資産として残すためにも利用の少ない家の相談をしてみませんか？詳しくは空き家サポーターまたは3どまで。

皆さん広報委員！  
いいたて PHOTO リレー

月ごとのテーマで写真を募集、エピソードと共に紹介します。



撮影 渡部功さん（草野）  
テーマは  
「冬の始まり～飯館村の早朝」



「朝の飯館村を巡って、いろいろな景色を撮影しました」。渡部功さんに提供いただいたたくさんの写真から、今回は「はやま湖の雲海」と「二枚橋の早朝」を紹介します。



「はやま湖の雲海」は、前日の夜と早朝の寒暖差が大きいこと、十分な湿度、そして風が弱いことなどの条件が重なって初めて見られる景色だそうです。「これを撮影するためにははやま湖に3日通いました。いい写真を撮るために何日も通わないだめですからね」と渡部さん。もう一枚の「二枚橋の早朝」については「稻わらが田んぼに並んでいるこの風景はこの時期この地域ならではの“なつかしい風景”だと感じます。冬支度の始まりを感じますね」と話していました。朝日が照らす紅葉の山も見事です。冬のはじめの村ならではの風景写真を掲載させていただきました。

1月号  
12/10締切

例え…「雪」「クリスマス」「星空」「凍み大根」をテーマに。

2月号  
1/16締切

例え…「新年」「成人式」「七草がゆ」「梅」をテーマに。

■写真様式 データ、現物を問いません。  
■提出方法 電話で写真の詳細をお聞きした後、相談させていただきます。  
■選考 応募多数の場合は選考します。

■写真枚数 1掲載につき1~2枚程度。  
■報償 1掲載につき1,500円。

問 村づくり推進課企画定住係（広報担当：巻野）☎0244-42-1613



## いいたて冬まつり イルミと冬の花火が彩りました 「日本で最も美しい村」連合物産展も同時開催！

11月22日、いいたて村の道の駅までい館にて『いいたて冬まつり』が開催されました。

今年は初の試みとして「日本で最も美しい村」連合の福島県加盟3町村による合同物産展が同時開催され、三島町・大玉村・昭和村の3町村が出店。それぞれ町長・村長も来村し交流を盛り上げていたときました。飯館村からも多くの事業者が出店し特産品を販売。温かい汁物なども提供され、多くの

来場者で賑わいました。

また、「佐須の虎捕太鼓」が、福島大学の学生により披露された他、ジャズコンサートなども催され冬まつりを彩りました。

夕刻からは飯館村商工会青年部が飾り付けたイルミネーションの点灯式と『冬の花火』の打ち上げが行われました。一帯に広がった美しい光の景色と、澄み渡る夜空の花火の輝きに、大勢の観客から何度も歓声が湧き上がりました。



〈上左〉あぶくまもちの米や稻わらを使ったオーナメントは「モノからはじまる」の二瓶麻美さん（大倉）が制作。〈上中〉ふかや風の子広場のイルミネーション。〈上右〉ジャズコンサートのシーン。

### （編集後記）

令和7年も終わりが近づいてきました。皆様に

いお年をお過ごしください。（巻頭）

とつて、今年はどんな1年でしたか？広報いいたてを1月号から見返すといろいろなことがあったなと思います。たくさんの人々の頑張りと協力、ふるさとへの想いが感じられる1年でした。これからも広報いいたてを通して、皆様に飯館村の今をお届けしていきたいと思います。今年も1年大変お世話になりました。よ

いお年をお過ごしください。（巻頭）

秋色の里山がふわふわの霧のベールに包まれたり、解け始めた霜が原っぱでスパンコールのよつにキラキラしたり、どんどん来るのか青空にチラチラ風花が舞つてしたり。この季節、景色との出会いはサプライズ感強めでちょっとワクワク。清々しく穏やかな初冬の日々です。新しい年の飯館村の多幸を祈りつつ。（星）

### 日本で最も美しい村かるた



飯館村も加盟している「日本で最も美しい村」連合が、発足20周年を記念し、加盟町村の魅力を伝えるかるたを制作しました。読み札の言葉は公募で集められた約1,000首の短歌から選定され、取り札と共に温かなイラストが添えされました。裏面には各町村の紹介も書かれています。村では、いいたて村の道の駅までい館にて販売しています。

いいたて村の道の駅までい館 0244-42-1080